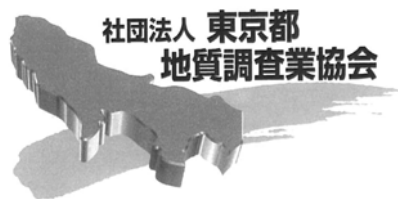


東地協ニュース 2005.夏 第6号



東京都地質調査業協会 20 年を振り返って

関東地質調査業協会
副理事長 諸角 栄康
(協和地下開発株式会社 取締役会長)

先日、東京都地質調査業協会 20 周年記念パーティの席上、設立にかかわった者の一人として今日までの 20 年を振り返って話をさせていただいた。もう一度、整理をしてみたい。

支部設立のきっかけは、それまで一部地域を除き関東協会 = 東京中心で行われてきた業界 PR 活動を、都県毎に支部を設置して密度の濃い活動を展開しようということにあった。しかし、東京を除く各県には、既に地元業者を中心とした“協会”や“団体”があり、中には関東協会とは別組織設置の動き等も見られたため、調整にはかなりの時間を要した。

その点東京の場合は他地区と違い設置にあまり問題はなかった。昭和 60 年 4 月、関東地質調査業協会東京都支部は会員数 62 社で発足した。

10 周年を迎えた平成 6 年には、会員数も 85 社に伸びていた。「法人格取得」の話が出てきたのはこの頃であった。当時法人化は、九州各県で行われており、それらの地区での業界活動は成果が上がっていると言われていた。そこで関東地区でも！となった。当初は東京だけでなく千葉や埼玉でも検討しようだったが、両地区共財政的な事情から断念した。

当時は、法人格を取得するようになったら、会員数 100 社も夢ではないとさえ思われたが、丁度そのころに全国各地で談合問題が発覚し、全国組織を持つ会員が危機を感じて各支部を退会するようになった。その影響は東京支部でも例外でなく、平成 10 年にやっと認可を得た「社団法人東京都地質調査業協会」発足時は 70 社に落ち込んだ。

法人化後の目覚ましい活動等は省くが、東京都協会として公に認知されるようになり、それによって活動内容・範囲も広がっていったが、残念ながら会員減少に歯止めはかからなかった。しかし、会員減少に伴う会費収入減 = 活動資金も厳しい中で、会員全てが協会活動に参加することによって大いに実績を上げてきていることには頭が下がる思いがする。

現在は、以前に退会した企業も戻りつつあるようだが、一方で退会者も後を絶たない。今後ますます期待が高まってくる協会活動をどのように運営していくのか、これからの課題は多い。現在の協会役員並びに会員各社の強い熱意に大いに期待したい。と同時に、なんといたっても望みたいことは、退会した会社だけでも、もう一度戻ってきて欲しいということである。

会議報告等

1. 17年1月19日 理事会・全体委員会

- (1) 11～12月収支報告
- (2) 特別委員会の解散の件
初期の目的を一応達成したので、解散することとした。
- (3) 第14回通常総会について
3月23日(水)測量地質健保会館にて開催した。
当日は、元東京都港湾局清水恵助氏の講演を開催した。

2. 17年3月2日 理事会・全体委員会

- (1) 会員会社の退会の件
旭日技研株式会社が2月末日を以って退会した。
- (2) 第14回通常総会の進行について
- (3) 平成16年度仮決算について
- (4) 平成17年度事業と予算について
- (5) 土壌汚染調査のパンフレットについて
- (6) 東京都都市整備局住宅技術課への仕様書改訂に関する打合わせについて

3. 17年3月23日 第14回通常総会(予算と事業)

去る3月23日(水)、測量地質健保会館7階大会議室において協会第14回通常総会が開催された。当日は会員数44社に対し、32社が出席。議事の概要は以下の通り。全議案が承認され、滞りなく終了した。

- (1) 平成17年度事業計画(案)承認の件
- (2) 平成17年度収支予算(案)承認の件
(1),(2)ともに異議無く承認された。
- (3) 役員の一部変更の件

理事の津田三郎氏及び監事の飯田秀雄氏の辞任に伴う役員の補充について、議長より出席会員の一任を取り付け、以下の方が就任された(任期は何れも

平成18年3月31日までである)。

- 理事 片山浩明氏
東邦地下工機(株) 企画開発本部 開発部 次長
- 監事 杉松一政氏
株日さく 執行役員 技術営業統括部 部長

なお、総会終了後、前九州工業大学工学部社会工学科教授 清水恵助氏(元東京都港湾局勤務)を講師にお招きし「今さら、東京港の地盤について 私のじばん話し」と題し、私たちにとって身近な東京港の興味深い話題をお話しいただいた。

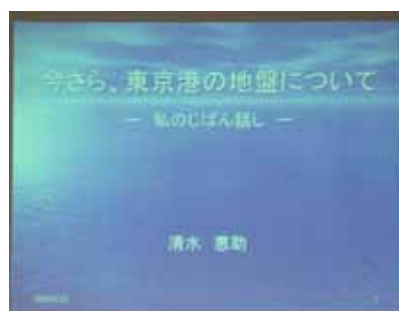
18時からは会場をホテルサンルート池袋内のレストランに移し、協会創立20周年を記念し、懇親パーティを開催した。

総会風景

～ 第14回通常総会 ～



～ 講演会 ～



清水恵助先生

4. 17年4月15日 理事会・全体委員会

- (1) 入会申込会社の審査の件
興亜開発株式会社の4月1日付け再入会を承認。
- (2) 会員会社の退会の件
三共地質株式会社が3月末を以って退会した。
- (3) 平成16年度収支決算報告
- (4) 創立20周年記念パーティ結果報告
3月23日(水)
ホテルサンルート池袋 2階 宴会場 他
参加者：107名
- (5) 第15回通常総会について
- (6) (社)首都道路協議会総会の件
5月19日大越会長・金道副会長出席した。
- (7) 委員交替の件
- 辞任 広報副委員長 泉田昌利氏(多摩ボーリング株)
- 新任 広報委員 西岡卓也氏()
- 新任 広報委員 中井泰弘氏(株東建ジオテック)
- 辞任 広報委員 齋藤博重氏(日本物理探鉱株)
- 新任 広報委員 大塚信二氏()
- 辞任 技術副委員長 森口安宏氏(川崎地質株)
- 新任 技術委員 渡辺幸雄氏()
- 辞任 技術委員 棚瀬充史氏(住鉱コンサルタント株)
- 新任 技術委員 平野義明氏()

5. 17年5月18日 理事会・全体委員会

- (1) 土壌汚染調査のパンフレットについて
PR用に2,000部を印刷した。
- (2) 技術及び広報副委員長の補充について
技術副委員長 高橋高志氏(協和地下開発株)
広報副委員長 三重野淳三氏(株富士ボーリング)
- (3) 東京都防災展について
日時：平成17年8月23日(火)～26日(金)
場所：新宿駅西口イベントホール

6. 17年5月18日 第15回通常総会(決算)

協会第15回通常総会は、去る5月18日(水)東京都庁都議会議事堂6階第1会議室で開催した。当日は、会員数44社に対し、37社が出席した。議事の概要は以下の通り。

- (1) 平成16年度事業報告承認の件
- (2) 平成16年度収支決算報告承認の件
杉松監事より監査報告があり、適正に処理作成されている旨報告された。
- (3) 平成17年度事業計画変更承認の件
- (4) 平成17年度収支予算変更承認の件
- | | |
|-----|-----------------------------|
| | 11,850,000円(変更前11,760,000円) |
| 予 算 | 11,760,000円 |
| 収 入 | 11,970,884円 |
| 支 出 | 10,468,774円 |
| 剰余金 | 1,502,110円 |
- (3), (4)とも3月の第14回通常(予算)総会で承認されたが、本決算により一部修正提案された。以上、(1)～(4)について承認された。

なお、総会終了後、理事の若松加寿江先生により首都直下地震に関する講演会が行われ、協会会員のほか、東京都職員の方々も会場に立ち寄り熱心に聴講されました。(講演会詳細はトピックス参照)



大越会長挨拶

総務委員会活動報告

総務委員会としての、主だった活動報告は今回は特
にありませんが、毎年3月、5月の両総会のお手伝い
とその後の講演会、特に協会創立20周年記念パー
ティとOB会開催の準備をしたのが唯一の活動と言え
るものです。

その会も盛況に終わり、一部の方から再度開催(OB
会)したいとの声も聞こえてきましたので、総務委員
会としても陰ながらお手伝いをおと思っています。

以上で今回の報告を終わらせていただきます。

会員読者の皆様には東地協ニュースの発行が遅く
なりまして申し訳ありません。

～協会創立20周年記念パーティより～



会長挨拶



会場風景



(総務委員長 鳥塚 明)

技術委員会活動報告

平成17年度4月～6月までの技術委員会活動報告を
させていただきます。

はじめに「ノート部会」の活動について報告いたし
ます。技術ノート38号は、「多摩川」となりました。
これまでに東京にかかわる多くをとり上げてきました。
今回も関東ローム、低地、堤防、段丘等などが候補に
上がりましたが、読者の声なき声に耳を傾けてこのテ
ーマを選びました。本格的には6月から始めて、9月末
頃を目途に関係機関への取材と資料調査、編集作業を
経て、年末には発刊の予定です。

38号「多摩川」も前号同様に読者の多くが楽しめる
様に、地形地質から環境、風物等々のバラエティーに
富んだ技術ノートとして皆様にお届けできるものと思
います。ご期待ください。

「講演部会」は、東京都都市整備局から職員向けの
技術講習会依頼が入り、7月14日(木)午前午後の一
日を土壌地下水汚染調査技術と地盤調査技術の内容で実
施しました。この講習会に出席された都職員数は70名
を超す盛況な講習会となりました。これによって、発
注者の方々の地質調査業への理解が深まることと思
います。

都主催の防災展示会は昨年同様に新宿西口広場にて、
8月23日～26日の間行われる予定です。これには当協
会と関東地質調査業協会の共同出展となります。展示
物は、これまでのとは内容を一新して「中越地震・福
岡西方沖地震」等の最近の地震災害写真パネルを多く
展示する予定であります。

講演部会のメインイベントである技術フォーラムは、
11月7日(月)に北区王子駅前「北とぴあ」で開催の予
定です。会員各社技術者の皆さんの技術発表と討論を
お待ちしておりますので是非参加申し込みをしてください。

「環境部会」は、環境事業の各種業界団体とのパイプ

つくりを進めております。これまで(社)日本環境測定分析協会からの講師派遣などが実現出来ましたことから、今後は分析機器業界や廃棄物処理団体等へのコンタクトを計画しております。

4月には、土壤汚染調査のパンフレット「土壤汚染の有無を診断します」をつくりました。広報委員会の協力でこのパンフレットを都庁及び都下の各役所の窓口に置かせていただき、市場開拓をしております。

私たち技術委員会は、会員皆様のサービス向上に前向きに努力し、かつ、遊び心を絶やさずに活動を楽しんでおりますのでご支援下さい。なお、ひきつづいて技術委員を募集しております。会員各社の技術者の方々のご参加を待っております。(^^) よろしくお願ひします。

(技術委員長 大竹 勉)

広報委員会活動報告

平成17年1月～6月までの広報委員会活動報告をさせていただきます。広報委員会では、当協会のPR及び会員企業と非会員企業の差別化を第一に考え活動を行って来ております。

平成16年度 第4回広報委員会 16名参加

(平成17年3月25日15時～17時)

議題

1. 第14回通常総会報告
2. 各担当地区の広報活動報告
3. 平成17年度の広報活動について

平成17年度 第1回広報委員会 18名参加

(平成17年6月24日15時～17時)

議題

1. 第15回通常総会報告

2. 担当地区の見直しについて

3. 前期広報活動報告又は見直しについて

4. 平成17年度、防災展について

平成17年度前期広報活動

(平成17年6月～7月に実施)

今回の活動では、土壤汚染調査のパンフレットを重点的に都区市町村の関係部署(例：都環境局環境改善部等)の窓口等に置かせてもらいました。

【広報先】

・国関係

| | |
|----------|-----------|
| 国土交通省 | 6事務所、30ヶ所 |
| 東京郵政公社 | 2ヶ所 |
| 都市再生機構 | 3事務所、11ヶ所 |
| 首都高速道路公団 | 3事務所、14ヶ所 |
| 東京地下鉄(株) | 8ヶ所 |

・東京都関係

| | |
|---------|-------------|
| 第一本庁舎 | 12ヶ所 |
| 第二本庁舎 | 68ヶ所 |
| 出先事務所 | 38事務所、180ヶ所 |
| 住宅供給公社 | 4ヶ所 |
| 東京消防庁 | 2ヶ所 |
| 東京港埠頭公社 | 3ヶ所 |
| 新都市建設公社 | 9ヶ所 |
| 道路公社 | 2ヶ所 |
| 区役所 | 23区、147ヶ所 |
| 市役所 | 26市、118ヶ所 |
| 町役場 | 3町、9ヶ所 |
| 村役場 | 1村、2ヶ所 |

【配布資料】

技術ノート
協会案内
会員名簿
業務経歴
土壤汚染調査のパンフレット

広報委員の方々には、大変ご苦労様でした。

(次回の広報委員会は平成17年10月頃の予定)

最後に、広報委員を募集しておりますので、是非ご検討下さい。又、体験参加だけでも大歓迎です。詳しくは事務局までご連絡下さい。お待ちしております。

(広報委員長 中込 実敏)

トピックス(協会行事紹介)

東京協会 創立 20 周年記念パーティ (OB 会)

平成 17 年 3 月 23 日、東京協会第 14 回通常総会終了後の 18:00 よりホテルサンルート池袋にて協会創立 20 周年を記念し、ささやかなパーティを開催致しました。会場には 100 名余の方々にお集まりいただき、大変盛況のうちに会が進められました。大越会長の挨拶に始まり、発足当時から会員 14 社への感謝状の授与、協会 OB の方々からのお祝いそして激励のメッセージも多数頂戴致しました。協会活動にご尽力いただいた先輩方(協会 OB)、そして現在の協会運営にご協力いただいている皆様との交流が一層深められる貴重な機会となり、協会設立当時のご苦労話、今後の協会活動について、そして懐かしい思い出話など、会話は尽きることなく和やかな雰囲気のもと 2 時間の宴は終了いたしました。

協会の活動はたくさんの人に支えられ、今日に至ることができました。今後ともご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



・感謝状の授与



OB 代表
諸角氏



OB 代表(乾杯)
羽山氏



OB 代表
安達氏



OB 代表
森氏

首都直下地震に関する講演会

東京協会第 15 回通常総会終了後、東京都庁都議会議事堂 6 階第 1 会議室にて『首都圏の震災像 内閣中央防災会議「首都直下地震対策専門調査会」の被害想定結果からの報告』と題して、協会理事の若松加寿江先生(独立行政法人防災科学技術研究所)より“首都直下地震”についての貴重なご講演をいただきました。この講演会には会員会社より 52 名の参加希望があり、また会場も都庁会議室とあって、当日、東京都の建設局や都市整備局をはじめ、20 名を超える職員の方々がお見えになり一緒に聴講されました。今日に於ける地震・防災に対する関心の高さが窺われました。



若松加寿江先生



東京都主催 防災展

『私たちの命を地震から守るためにはどう取り組むか!』

期間：平成 17 年 8 月 23 日(火)～26 日(金)
10:00～19:00 (最終日のみ 15:00 まで)

場所：新宿駅西口広場 イベントコーナー

内容：パネル展示、防災用品の展示販売、安否確認体験、家具の転倒防止対策の紹介、家の耐震診断・相談、ライフラインについて、自主防災組織パネル紹介、起震車による地震の体験、救命講座(23～25 日)、建築物の地震防災に関する講演(24 日)、液状化実験(25 日)、首都直下型地震に関する講演(26 日)

協力：東京消防庁・東京都地質調査業協会・関東地質調査業協会・地盤工学会関東支部・東京都葛飾福祉工場・東京都道路整備保全公社・東京都建築士事務所協会・東京建設業協会・東京電力・NTT 東日本・NTT ドコモ・KDDI

都市整備局・技術研修会への協力

平成17年7月14日(木)、都庁第一庁舎34階・A会議室において、東京都都市整備局主催の技術研修会が右記の内容で開催され、当協会では「土壌汚染調査」と「地盤調査」に関する講義実施の依頼を受け、3名の講師を派遣いたしました。

当日は、都市整備局をはじめ、財務局、産業労働局、環境局、水道局、清掃一部事務組合、警視庁、東京消防庁等より、70名を超える都職員の方々が聴講され、終了後のアンケートでは、“わかり易くてよかった”、“今後も継続的に研修会が開催されると良い”などの感想も多数あり概ね好評であったとのことで、都の担当者よりお礼のお言葉を頂戴いたしました。

研修会開催にあたっては、協会技術委員会を中心に準備・調整を進めておりますが、講師の派遣等、会員各位のご協力なくしては実現致しません。日頃のご理解に深謝申し上げますとともに、ますますのご協力をお願い申し上げます。



技術研修「土壌汚染調査・地盤調査の実務」次 第

- ・主催者挨拶(9:30~9:40)
- ・**第一部** 土壌汚染調査の実務(9:40~12:15)
 - 土壌汚染調査の実務
 - ・土壌汚染等に関する関係法規
講師：荒井 正 氏
(株)日さく
地盤環境事業部 事業部長)
 - ・土壌等汚染調査における留意点
土壌等汚染の措置・修復技術
講師：油野英俊 氏
(川崎地質(株))
事業本部 環境技術部 部長)
 - 土壌調査委託の実務
講師：石原重治 氏
(都市整備局 総務部技術管理課
建築技術担当係長)
- ・**第二部** 地盤調査の実務(13:30~16:00)
 - 地盤調査の基本
講師：佐久間春之 氏
(株)東建ジオテック
東京支店 技術部 次長)
 - 地盤調査委託の実務
講師：田中 浩 氏
(都市整備局 東部住宅建設事務所
建設課 構造担当係長)

行事日程

| 日 程 | 行事名・内容等 |
|---------------------|----------------------------------|
| 8月23日(火) ~26日(金) | 東京防災展示 場所：新宿駅地下西口広場 |
| 9月14日(水) | 理事会・全体委員会 (協会会議室) |
| 11月 7日(月) | 東京都2005技術フォーラム 場所：北とぴあ |

会員(正会員・賛助会員)動静

(1) 会員の入会 1社 (再入会)

- ・興亜開発株式会社 (平成17年4月1日付再入会)
所在地：〒130-0022
墨田区江東橋5-3-13 写測ビル
電話：03-3633-7351 FAX：03-3633-7356
代表者：代表取締役 新井重春氏

(2) 会員の退会 2社

- ・旭日技研株式会社 (平成17年2月末日付退会)
- ・三共地質調査株式会社 (平成17年3月末日付退会)

(3) 代表者及び住所の変更

- ・株式会社キタック 東京支店
代表者) [新] 東京支店長 寺井俊雄氏
[旧] 東京支店長 白倉秀夫氏
- ・住鋳コンサルタント株式会社東京支店
代表者) [新] 東京支店長 渡部春夫氏
[旧] 東京支店長 飯森宏一氏
- ・株式会社ダイエーコンサルタンツ
代表者) [新] 代表取締役 網代稔氏
[旧] 代表取締役 原島滋氏
新住所) 〒107-0052
港区赤坂9-6-39
電話 03-5413-7525 FAX 03-5413-7545
- ・株式会社ダイヤコンサルタント 東京支店
代表者) [新] 東京支店長 近藤通孝氏
[旧] 東京支店長 小熊実氏
- ・大和試錐工業株式会社
新住所) 〒141-0031
品川区西五反田7-11-1 第五花田ビル
(電話・FAX番号は変更なし)
- ・千葉エンジニアリング株式会社 東京支社
新住所) 〒171-0021
豊島区西池袋4-22-12
電話 03-5917-3911 FAX 03-5917-3912

- ・株式会社 東建ジオテック 東京支店
代表者) [新] 東京支店長 中井泰弘氏
[旧] 東京支店長 佐々木甫氏
新住所) 〒113-0034
文京区湯島3-37-4 シグマ湯島ビル
(電話・FAX番号は変更なし)

- ・日鉄鋳コンサルタント株式会社
代表者) [新] 代表取締役 成瀬宏氏
[旧] 代表取締役 向坂勝之氏

- ・株式会社 富士ボーリング
新住所) 〒132-0033
江戸川区東小松川4-25-8
電話 03-5678-6521 FAX 03-5678-6538



・編集後記・

トピックス等で報告された「協会創立20周年パーティ」が無事に終わり、内心「ホッ」としております。

総務委員会では、当初予想した人数を超える方々にお集まり頂き、参加された方の中には多少会場が「窮屈だ」と思われた方がいらっしゃるかもしれませんが、この場をお借りしてお詫び申し上げたいと思います。その他至らない点がありましたら、遠慮なくご意見をお聞かせ下さい。

今後も先輩の方々に負けないような委員会活動を行って、今まで以上に協会を盛り上げて行きましょう。そして30周年記念パーティで思い出を語り合ひましょう。



追伸 協会事務局の動静(局員の氏名変更の件)

- ・婚姻による氏名変更：岩崎 智子 (旧姓：黒田)
引き続きお世話になりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

東地協ニュース 2005.夏 第6号

発行・編集 (社)東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp

